

〈さいたま市西区／ウイングキャッスル〉 設置台数／936台
経営企業／産経商事株式会社

地域に根差し、新たな価値を創造するウインググループ

改装に伴い、エルゴジャパン製品で最高のプレイ環境を構築

オープン20周年を迎え大幅リニューアルを実施した《ウイングキャッスル》。お客様により快適な設備で遊技してもらうべく選んだのが、エルゴジャパンの『スマホホルダ』と『パーソナルボードマルチ3トリプル』だ。



『パーソナルボードマルチ3トリプル』は、収納時の出幅がわずか30mmのため、遊技台の入替や開閉、離席・着席時にも干渉しない。



新設した遊技島に導入した『スマホホルダ』。動画撮影や、ながら遊技に快適性をもたらす。お客様に真に快適な遊技環境を提供するために必要不可欠な製品だ。

『スマホホルダ』の導入で 撮影、ながら遊技を快適に

埼玉県で4店舗を展開する産経商事の旗艦店《ウイングキャッスル》は7月8日、遊技島を新設しパチスロ増台を行うリニューアルを実施した。新設した島には、エルゴジャパンの『スマホホルダ』を導入。お客様に最高のプレイ環境を用意した。

「当店は今年、オープン20周年の節目を迎えました。これを機に、お客様により快適な環境で遊技していただきたいと思い、様々な設備を模索する中で『スマホホルダ』をご紹介いただきました。

今の時代にマッチした製品で、多くのお客様に利用いただけるイメージがすぐに湧いたため導入しました」と話すのは同店の松村貴司副支配人だ。

『スマホホルダ』は、高い操作性と耐久性を有した3段階アームとボールジョイントによって、スマホの位置や角度を自在に調節可能。アームは遊技台の前面まで伸びる仕様で、動画・写真

撮影やながら遊技を快適にする。

「20～30代の若いお客様を中心に利用いただいています。導入後まもなく、パチンコの演出を撮影していたり、YouTubeやTikTokを見ながら遊技していたりと、お客様がストレスなく快適に遊技されている姿を見ると、導入して良かったと感じますね」（松村副支配人）。

また、未使用時にはホルダごと縦収納が可能。収納時には間柱の幅にきっちり収まるため、遊技台の開閉や入替にも干渉しない。ホール運用面にも配慮が行き届いていると、松村副支配人は高く評価する。

さらに、台間ボードは『パーソナルボードマルチ3トリプル』を選択。強化レールによって安定感のあるスムーズな開閉ができるところも高評価を寄せる。

松村副支配人は「お客様の快適性を第一に考えると、『スマホホルダ』は間違いなくホールに欠かせない設備です。今後もさらなるリニューアルを考えているので、追加導入を前向きに検討したいと思います」と話す。